

議員定数2減を賛成多数で可決

比与森光俊議員の発議による「議会議員の定数を定める条例の一部改正」が賛成多数にて可決された。

改正により、現定数22人が次回選挙から20人に削減される。

反対討論

山崎龍太郎議員

地方分権が言われて久しい中、本市は特に地域特性を反映させた議会であらねばならない。議会報告会で議員の顔が見えない等の意見があった。合併時より約半減の定数では、行政と市民のパイプ役である議会、議員に対する関心が今以上に薄れることになる。

本議会は、開かれた議会を目指し、議会報告会の開催等に取り組む

むことにより、議会の役割を理解していただく努力をしている。多くの市民が議会人を目指してもらえようような環境づくりを行っている現状では、定数は維持すべきと考える。

報酬削減は否決

山崎晃子議員より議

員報酬の削減が発議され「定数削減より報酬削減を」とのことから、現行の報酬を合併当初に戻す内容。質疑討論の後、採決の結果、賛成少数で否決された。

賛成討論

大岸 眞弓議員

議員には、市政のチエックや住民ニーズを市政につなぐ役割が

また、一度は否決された発議がなぜ短期間で可決の方向となるのか。議会の議決に対する市民の信頼を失うと考え、一貫性のなさに疑問を呈しておく。

ある。議会報告会等で市民の意見を聞くと、その役割が十分に知られていない状況がある。

また、本市の財源の多くを占める地方交付税が28年度から通減され、5年間かけて一本算定となり、市民から財政について心配する声が寄せられている。

合併後、大幅に引き上げた報酬をいったん合併当初の水準まで戻すという本案は、住民世論への配慮でもある。

消防庁舎建設工事の契約が3回目の入札で締結！

全国的に公共工事の入札が不落となる中、消防庁舎建設工事がようやく落札され請負契約が締結された。他に香北支所庁舎、市民体育館（旧宝町体育館）の契約が締結された。



開始された消防庁舎建設

消防庁舎

契約の目的 消防庁舎建設工事（建築主体工事）
契約金額 6億1,020万円
契約の相手方 大旺新洋株式会社

香北支所庁舎

契約の目的 香北支所庁舎建設工事（建築主体工事）
契約金額 2億9,008万8,000円
契約の相手方 小松建設株式会社

市民体育館

契約の目的 (仮称) 市民体育館（建築主体工事）
契約金額 1億9,753万2,000円
契約の相手方 関西土木株式会社